

# 競技・運営上の確認事項

- 1 本大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、別に示されるガイドラインに沿って運営される。
- 2 競技は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 3 入館時刻は各チームの試合設定時刻の1時間前とする。ただし、第2試合のチームは8：30とする。
- 4 入館時に測定した体温を健康観察表（A票）に記入し、受付に提出すること。
- 5 会場内ではマスクを着用すること。フロアでの練習中はマスクを外してもよいが、試合中はスタッフ・控え選手ともにマスクを着用すること。
- 6 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 7 監督、コーチ、マネージャーマークは左胸部につけ、監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。また、身体へのマジック等での書き込みは禁止する。
- 8 試合前のチームは、コート系の許可が出てから自由にコートやネットを使って練習できる。（第1試合のチームは8：15以降）ただし、他のコートが試合中の場合はパス程度の練習とする。プロトコール4分前からはコートチェックを行うため、練習をやめてコートから出ること。
- 9 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は予定した時刻より遅れることがあっても早く開始されることはない。プロトコールはプログラム記載時刻の11分前とする。各試合とも最長30分間、最短15分間の合同練習時間を確保する。
- 10 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 11 試合開始、終了時の握手は行わず、エンドライン上でのあいさつのみとする。
- 12 コートチェンジ後は、大会役員による消毒作業が完了するまではベンチを使用せず、ウォームアップエリアで待機すること。
- 13 控え選手は意図的な応援は行わないこと。
- 14 1日目、2日目（男子決勝・3決を除く）のラインジャッジについては以下の割当で行う。  
第1試合は第2試合のチームから計4名、第2試合以降は前の試合の敗者チームから4名とする。  
ラインジャッジのフラッグは各チームで可能な限り持参すること。  
その他の生徒役員は盛岡地区のバレーボール部員が行う。

# 審判上の確認事項

- 1 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会（以下 JVA）6人制競技規則による。リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 リベロの不法な交代は、JVAの取り扱いに準じる。  
（リベロの不法な交代が発覚した時点で、遅延制裁や反則の対象となる。）  
なお、リベロとの交代はサイドライン上でいったん立ち止まること。  
（セット開始時を除く。）
- 3 各セットの開始時にコート内で円陣を組む場合、そのタイミングはスターティングラインアップの確認前後どちらでも構わない。  
ただし、人数は最大でもスターティングリベロを加えた7人までで速やかに行い、スターティングラインアップの確認や試合開始の準備をすること。
- 4 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。  
コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、クイックモッパー（2名以内）を待機させることができる。  
クイックモッパーは、控え選手または選手以外の部員から選出する。
  - ① 控え選手の場合は、ベンチに待機して責務を果たす。
  - ② 選手以外の部員の場合は、1人は記録席脇、もう1人はベンチとウォームアップエリアの間で待機して責務を果たす。また、服装は選手と区別し、ボール拾い等、チームのサポートは一切行うことはできない。
- 5 ゲームキャプテンは、審判に対し判定について質問する権利を有するが、抗議をすることはできない。また、他の競技参加者は質問する権利を有していない。
- 6 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。  
相手チームに向かってのガッツポーズやラインジャッジの判定に対する抗議等は「軽度の不法な行為」として扱い、制裁の対象となる。  
「軽度の不法な行為」は、ステージ1（口頭警告）→ステージ2（イエローカードによる警告）のとおり、段階的に警告が与えられる。
- 7 今大会は、選手交代（サブスティチューション）にナンバーカードを使用しないため、交代する選手は手を高く挙げること。
- 8 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。  
下記①～③の行為は、遅延制裁の対象となる。
  - ① 正規の試合中断（タイムアウト・選手交代）の要求後の取り消し
  - ② タイムアウト終了後、コートへの戻りが遅い等、試合再開を遅らせる行為
  - ③ ラリー終了後、サービス許可までの時間を超える長時間の靴紐の結び直し等、ラリー再開を遅らせる行為
- 9 各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 10 セット間は、試合中のチームのみフリーゾーンでのボール使用を認める。ただし、隣接コートの試合の妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 11 タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示すこと。